

令和3年 第2回 定例会

第七代町長 古川庄平氏



町長として初めての議会

6月6日に執行されました会津坂下町長選挙に立候補させていただきました。このたび町長に就任し、町政のかじ取りを担わせていただくこととなりました。私は、町議会議員を5期20年務めさせていただき、町政運営やその課題についても関わってまいりました。議員から町長へとその役割は変わりましたが、「大好きな会津坂下町のために」という思いは、いかなる立場においても変わるものではありません。

さて、地方自治体は、自らの判断と責任で主体的な行財政運営を行い、住民の命と暮らしを守るとともに、特色あるまちづくりを進めていくことが求められています。私は、町長選挙に立候補した際に掲げた「変える勇氣！繋ぐ次世代へ！」の思いを実現するため、次の時代を担う若い人たちがまちづくりの主役で若い人たちが活躍できる会津坂下町を目指してまいります。どうぞよろしく願っています。

財政の健全化を持続しながら町にとって何が必要なのか、話を伺いながら進めていきます。

6月24日から7月2日までの9日間の会期で開催され、町長報告7件、人事案件・専決処分・条例各1件、予算7件の合計17件が提出され、全て可決・同意・承認されました。また、最終日には議員提出議案2件が追加され可決されました。

請願・陳情の審査

請願名	提出者	委員会	本会議
陳情第1号 「江川綱弘いじめ事件再調査」に関する陳情書	江川和弥	総務産建 不採択	不採択
請願第3号 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	福島県教職員組合中央 執行委員長 國分俊樹 福島県教職員組合両沼 支部支部長 横田恵一	文教厚生 採 択	採 択
請願第4号 トリチウムなどの放射性核種を含むALPS（多核種除去装置）処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める請願について	会津の大地と健康を守る 会会長 千葉親子	総務産建 採 択	採 択

討 論

請願について
私はこう考える



反対

山口 享議員

どうして日本だけがダメなのでしょう？WHOでもIAEAでもOKを出しているのか。一番怖いのはこのままタンクを保管し続けることによって、タンクの腐食により流れることとなります。問題を先送りせず、我々の世代で解決すべきであります。

反対

赤城大地議員

風評被害は断固として防がなければならないものであり、請願の趣旨については十分に理解します。しかしながら、同時に廃炉までの道のりが遠のくことがあってもならないと考えます。原発が立地する大熊町議会ではこれについての態度を明らかにしていませんが、廃炉作業を進めていただくことが1番の願いであると報道等に対し語っています。原発が立地する自治体議会の思いを尊重するとともに、政府方針に反対し撤回を求めた場合の議論は、少なからず廃炉までの道のりに影響があると考えられることから、採択に反対します。

賛成

蓮沼文明議員

風評被害の実例は会津の米、野菜等にも及んでおり福島県全体の問題でもあります。海洋放出に至るまで、政府及び東京電力が検討する時間は十二分にあったにも関わらず、検討結果が見られなかった。海洋放出ありきではなく、真摯に誠実な態度をもって、様々な処分方法を検討すべきです。我々は負の遺産を自分たちの孫の代まで残してはいけません。これ以上の犠牲を押し付けないようにすること。これは東京電力と政府に課せられた義務でもあります。

賛成

小畑博司議員

福島県民は犠牲者であり、今以上の負担を強いられる必要はありません。処理水保管のタンクを10万トン規模の石油備蓄タンクを10基増設することや、処理水を砂とセメントでモルタル化して保管すること等を含め検討すべきです。またアルプス（多核種除去装置）で処理した時に出る放射性廃棄物の処分も決まっておらず、先送りにされている今、海洋放出は撤回すべきです。

賛成

横山智代議員

諸外国の原発から放水されている処理水と福島第一原発の処理水は違う！放水することで日本の漁業だけではなく農林業やあらゆる産業が大きな影響を受けます。私たちはその多くの人たちに寄り添い国と東電には処理の方法のために研究・開発を更に進めることを強く求め賛成します。

討論



反対

横山智代議員

議案第41号

会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

この条例については、適正かつ安定的な国民健康保険の事業運営ができるように、町条例を改正するものです。本算定により令和3年度に必要な国民健康保険税額を確定し、税率等の改正を行うものです。

国民健康保険税は年金生活者にとって重い負担となっています。保険料の引き下げを求める声は切実です。こうした声にこたえる立場から条例改正に反対します。

審議案件に対する賛否の状況 (賛否が分れた議案)

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	目黒 克博	蓮沼 文明	物江 政博	赤城 大地	横山 智代	渡部 正司	小畑 博司	佐藤 宗太	山口 享	渡部 順子	五十嵐 一夫	酒井 育子	青木 美貴子	水野 孝一
議案第41号 会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
請願第4号 トリチウムなどの放射性核種を含むALPS（多核種除去装置）処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める請願について	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	議長
議員提出議案第3号 トリチウムなどの放射性核種を含むALPS（多核種除去装置）処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める意見書の提出について	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません

同意

議案第39号 人事案件 固定資産評価審査委員の選任について

氏名：武藤和伊氏

任期：令和3年7月1日～令和6年6月30日

どんな仕事をするの？

固定資産の価格の不服申立てについて（中立な立場で）審査をします。

第2回臨時会

(5月11日開催)

一般会計補正予算（第1号）については、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補正で1億5,669万6千円の追加。予算総額74億669万6千円となりました。その他工事請負契約の一部変更についても可決しました。

第3回臨時会（6月10日開催）

財産の取得（除雪ドーザー）について可決しました。700万円以上の動産を取得の場合、議会の議決が必要です。（地方自治法96条）

齋藤文英町長

任期最後の議会



平成25年の町長就任以来、2期8年にわたり、町政を前に進めることが出来ましたのも、議員の皆様方を初め、町民の皆様方の御支援と御協力の賜物であり、心より厚く御礼を申し上げます。

2期8年間お疲れさまでした